

■ 9月定例会の日程

5日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問〕 決算審査特別委員会
6日	本会議〔一般質問〕
9日	本会議〔一般質問〕
10日	総務委員会
11日	経済委員会
12日	文教委員会
17日	決算審査特別委員会 議会運営委員会
18日	決算審査特別委員会
19日	決算審査特別委員会
20日	決算審査特別委員会
26日	本会議〔委員長報告、意見書案説明、質疑、討論、採決〕

問 最大で一度にどのくらい利用できるのか。
答 100台の在庫を持っている。

問 今後も現在と同様の規模で貸し出しを継続していくのか。
答 在庫数が全て貸出済になつてしまう状況は今までないため、この規模で続けていけると考えている。

● 民生費
子どもの学習支援事業

● 衛生費
障害者歯科診療所費

問 事業の対象者は。
答 生活困窮者自立支援制度に基づき要保護、準要保護世帯の児童が対象である。

問 実施の状況は。
答 学習の機会を提供し、学習の習慣を定着させることを目指し、平成30年6月から、年末年始等を除き毎週土曜日午前9時30分から午前11時30分まで、全32回実施した。

問 子どもの貧困対策として、勉強だけでなく、家庭のしつけ等も行えないか。
答 家庭学習として、宿題や用意した教材を使つての学習を行っている。会場では教員のOBや大学生のアルバイトが中心となつて、勉強だけでなく、勉強に向かう姿勢等を教えている。



問 平成21年7月の開設から10年が経過したが、これまでの受診者数の推移は。
答 21年度が238人、その後受診者数は増え続け、28年度は613人でピークを迎えた。その後、29年度は586人、30年度は531人となり、やや減少している。

問 今後の課題を伺う。
答 新規の患者の受診を増やすことが必要であり、積極的にPRしたい。また、歯科医師会からは障害者歯科診療を担う人材育成が課題と聞いている。今後は、現在の木曜日みの開設から開設日を拡大することや

歯科医師の人材育成等について、歯科医師会と少しずつ協議していきたい。

● 農林水産業費
農業次世代人材投資資金

問 新規農業者の定着など、事業の効果について伺う。
答 農業次世代人材投資資金は、農業に意欲のある方に年間最大150万円、就農から最長で5年間交付するもので、平成30年度、蒲郡市においては2人の農業者に交付した。1人は露地野菜、もう1人はイチゴを生産しており、2人とも営農を続けている。

● 商工費
名鉄利用促進事業費補助金

問 予算が400万円に対して、決算額は128万円となったが、その理由は。
答 この補助金は、名鉄利用を促進するため、名鉄が販売している宿泊と電車の2日間乗り放題がセットとなった商品「でんしゃ旅」を利用しての方にサービスとして提供される宿泊施設のうち800円分を蒲郡市内



乗って残そう名鉄西尾・蒲郡線

の宿泊施設に対して補助するものである。「でんしゃ旅」の利用者は1600人で、想定よりも伸びなかったため、決算額は少なくなっている。

● 土木費
公園施設維持管理事業

問 公園の使用料は。
答 条例により、1㎡当たり30円という規定がされているが、スポーツ少年団の活動など非営利目的で使用する場合は免除している。

問 ナイター施設のある西田川公園や中央公園の夜間照明料の徴収は。